

お金の失敗を授業料と考えた瞬間から、金銭感覚へと変わる。

お金を使って後悔をした経験は、誰にでもあることです。

- ・無駄に使ってしまったお金
- ・貸したまま、戻ってこないお金
- ・騙されてしまったお金
- ・泥棒に盗まれてしまったお金

もし、お金の失敗をしたとき、考えてほしいことがあります。

「授業料」として考えることです。

授業料と考えることができた瞬間から、失敗が失敗でなくなります。

強い感情を伴った学びへと変わり、忘れることのできない勉強となります。

しかし、その代わり、しっかり学びに変えましょう。

せつかくお金を払って悔しい経験をしたのですから「次からは絶対に引つかからないぞ」という意識を高めるのです。

意識が高くなるだけでも、大きな意味があります。

学校では、お金や金銭感覚の勉強は、教えてくれません。

生活の中で、お金の失敗体験ができたことは、貴重な体験です。

失敗した経験は「学び」という形で、必ず元を取りましょう。

金銭感覚へと変えましょう。

元を取った瞬間から、失敗は失敗ではなくなります。

私はニューヨークへ旅行に行ったとき、タクシー料金で、法外な金額を請求されたことがあります。

訪問販売に引っかかって、30万円もする浄水器を買わされてしまったこともあります。



どの経験も思い出すと、悔しい気持ちがよみがえってきます。

おかげで、今このようにお金で失敗をしない本が書けるようになっています。

自分が失敗で得た学びをもとに、書いています。

どの失敗も悔しい気持ちが残っていますが、反動から「次からはこうしよう」という学びやモチベーションが得られているのです。

金銭感覚を身につける方法 その27

お金の失敗は、授業料として考える。